

1 国の動向

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」(令和7年12月)

部活動の地域展開・地域連携

1 【地域展開】

生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校部活動から地域クラブ活動に展開すること

全国的な取組方針等を示すとともに、好事例の収集・普及や、地方公共団体に対するきめ細かな支援等を実施する。

大学・民間企業等との連携体制構築等を通じて、理解促進・改革に向けた機運醸成等を実施する。

地域クラブの認定を行う仕組みを構築

2 【地域連携】

学校部活動において、部活指導員等の配置や合同部活動等を実施すること

部活動指導員の適切な配置、部活動数の適正化

教師を部活動顧問とする場合は、勤務時間内で部活動時間を設定するなどの配慮が必要

【各種課題】

運営団体・実施主体の体制整備 指導者の確保・育成
活動場所の確保(学校施設の有効活用) 移動手段の確保
生徒の安全確保 障害のある生徒の活動機会の確保

2 都の動向

「中学校におけるこれからの部活動の在り方を考える有識者会議」(令和7年12月)

東京モデルの3つの柱

1 【地域展開】

地元スポーツ団体や企業・大学による地域クラブが主体となり、部活動を運営・実施する。

2 【拠点化(地域連携)】

複数校が連携し、部活動を地域拠点校に集約する。生徒は、活動したい部活動のある学校へ通う。

3 【外部人材の活用(地域連携)】

地域のアスリートや専門家などを指導者として招き、より高度な指導を提供しつつ、教員の負担を軽減する。

【各種課題の解決に向けた都の取組】

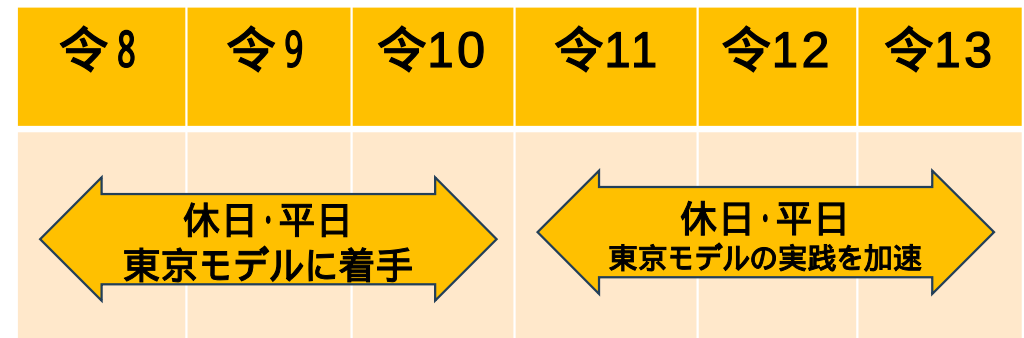
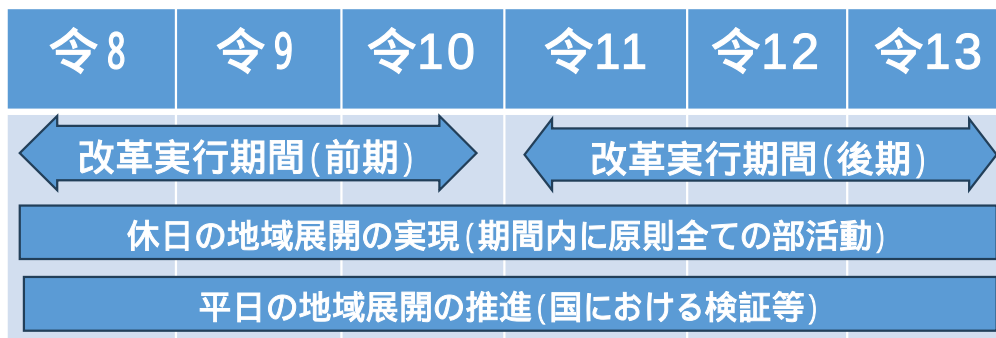
推進体制の整備および全体方針の策定・周知等
地域展開等に向けた広域的な基盤づくり

・関係団体等との連携体制の構築

・指導者確保に向けた仕組みづくり

・指導者研修や運営・リスク管理研修の実施

市区町村へのサポート



3 今後の地域展開等の実施概要

【地域展開】

総合型地域スポーツクラブ(SSC)による地域クラブ活動の通年実施

令和7年度実証事業からの主な変更点	
実施種目	既存の部活動にある種目
実施期間	通年実施(毎週日曜日開催)
移動手段	徒歩、公共交通機関に加え、自転車可
参加費	各回500円、当日支払い
申込方法	事前申込制(2次元コードからの申込)
区負担	1回の開催につき10,000円の委託料
その他	消耗品は委託料からSSCが支出

例: 1回の実施で15人参加した場合
区負担: $10,000円 \times 1.1 = 11,000円$
参加費: $500円 \times 15人 = 7,500円$
計: 18,500円

学校アンケートを基にした実施種目・会場(案)		
実施種目	会場(通年で使用予定)	実施SSC(案)
バレーボール	豊玉中学校	豊玉・中村
ソフトテニス	豊玉第二中学校	桜台
バドミントン	上石神井中学校	上石神井
卓球	大泉学園中学校	大泉
ダンス	光が丘地区	谷原
バスケットボール	平和台地区	平和台
フットサル	光が丘地区	光が丘

- 実施種目について
 - ・会場となる学校が「自校の生徒が一定数参加する。」と回答した種目(~)
 - ・今年度の実証事業で参加人数が多かった種目()
- 実施SSC(案)について
 - ・会場が管轄内である()
 - ・会場が管轄地域に隣接している()
 - ・今年度の実証事業で当該SSCが実施した種目()

【地域連携】

部活動指導員の配置拡充

令和8年度 全校2名配置(66名)
令和9年度 各校の実態を踏まえて更なる増員を検討

合同部活動の実施推奨

各校の実態を踏まえた実施の推奨

4 今後のスケジュール(案)

令8 2～3月	令8 4月	令8 5月	令8 6月	令8 7月	令8 8月(第1週)
担当種目決定(2/25) 会場校との打合せ 生徒・保護者へ周知	会場校との打合せ 生徒・保護者へ周知	地域クラブ活動(1期) 5月10日(日)～8月9日(日)の毎週日曜日(14回)			
指導者の確保 まず「1期」間	在り方検討 委員会	在り方検討 委員会		在り方検討 委員会	

令8 8月(第3週)	令8 9月	令8 10月	令8 11月	令8 12月
地域クラブ活動(2期) 8月23日(日)～12月20日(日)の毎週日曜日(18回)				
			在り方検討 委員会	

令9 1月(第3週)	令9 2月	令9 3月	令9 4月	令9 5月
地域クラブ活動(3期) 令和9年1月10日(日)～3月21日(日)の毎週日曜日(11回)				
在り方検討 委員会				